



東京富士美術館

文豪と印象派展

♪ 名曲コンサート

【チェロとピアノの二重奏

—「クライネス・コンツェルトハウス」メンバーによる室内楽の楽しみ—

日時: 2007年 5月3日(木) 13:30~14:30
 会場: 東京富士美術館 ロビー
 出演: 小澤洋介(チェロ)
 ラファエル・アルフォンソ・ゲーラ(ピアノ)

内容: ジャパン・シンフォニア首席チェロ奏者の小澤洋介と、日本在住のメキシコ人ピアニストでソロ・室内楽の分野で活躍する異色のピアニスト、ラファエル・ゲーラ。室内楽シリーズ「クライネス・コンツェルトハウス」を主宰するメンバーによる魅惑のコンサート。クラシック音楽の魅力を実感できる、しなやかでナイーブな染み渡るような美しい演奏を、心ゆくまでお楽しみ下さい。

曲目: バッハ/パストラール、シナステラ/パン・ベアナ、
 ヴォーン・ウィリアムス/イギリス民謡による6つの前奏曲、ポンセ/3つの前奏曲、
 エストレジータ ほか



小澤 洋介(チェロ) Yosuke Ozawa

オーストリア国立ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学卒業。85年より2年間トロント大学においてV.オルロフに師事。

'89年より'92年までザルツブルグ室内オーケストラの首席チェリストを務めるかたわら、ソリスト及び室内楽奏者としてアムステルダム・コンセルトヘボウ、ウィーン楽友協会等、ヨーロッパ各地で演奏。

12年にわたる海外生活の後、'92年より日本に本拠地を移し、ソリストととしてオーケストラとの共演や指揮、チェロ一本の独奏による「小澤洋介の世界」、ベートーヴェン・チェロソナタ全曲演奏会('98年ロンドン、'98年'99年東京文化会館)、また国際的に評価の高い「サント・フローリアン三重奏団」で'93年バンフ国際音楽祭招聘アーティスト、'96年ニューヨーク・カーネギーホール演奏会、'99年には350年の伝統を誇るスイス・ヴィンタートゥール音楽協会のコンサートに出演、新聞・雑誌で高い評価を受ける。

また高質室内楽シリーズ「クライネス・コンツェルトハウス」を94年より主宰し、'01年メキシコ・シナロワ州の招待によりメキシコ演奏旅行、また'02年日本R.シュトラウス協会例会に出演、また同年の第12回定期演奏会が「音楽の友コンサート・ベストテン」に推挙される。ジャパン・シンフォニア首席チェロ奏者。



ラファエル・アルフォンソ・ゲーラ(ピアノ) Rafael Guerra

メキシコに生まれる。メキシコシティにてJ.F.オソリオに師事。1985年渡米しNYマンハッタン音楽院、シンシナティー大学でピアノと室内楽を学ぶ。ニューオリンズ ピアノコンクールにて1位、コンサート・アーティスト・ギルド(ニューヨーク)ファイナリスト、サン・アントニオ・ピアノコンクールにて委嘱作品最優秀演奏賞を受賞。オーケストラとの共演も多数。メキシコ・米国を中心にソロ及び室内楽の演奏を行う。

1997年より日本在住。NHKFM出演、黒沼ユリ子、名倉淑子、浦川宜也各氏とのデュオや室内楽グループ「クライネス・コンツェルトハウス」メンバーとして多彩な活動を続けるとともに、昨年行われたソロリサイタルでは「確固たるテクニックに裏付けられた輪郭の明晰さ、生命力に満ち溢れたリズムの重みと切れ味、そして旋律線の歌わせ方はまさに絶品」(音楽の友)と絶賛された。